

私とバラ

四国西南バラ会 会長

としひこ
宮谷 敏彦さん(満倉)



“色鮮やかなバラに心癒され”



◀鑑賞会を目前に控え、学級生と共に花がら摘みと消毒を行う宮谷さん

四季を通してさまざまな花を育て、ガーデニングを楽しんでいた宮谷敏彦さん。退職後、庭一面を彩るたくさんの花を種から育て上げながらバラの植栽も始めました。現在は自宅で5種類150本のバラを栽培しており、開花時期を迎える5月上旬は見事に咲いたバラを見物に来る方々で賑わいます。

美しいバラを咲かせるためには、剪定や肥料を与えながら年間を通じて手入れが必要になります。「最近バラクキバチやカミキリムシなど害虫の被害が多く、新芽が枯れてしまい、大変困る」と話すように、4月～10月までは月に2～3回の農薬散布が欠かせません。また、開花後も花がら摘みと切り戻しを継続して行うことで長期間にわたり花を楽しめるように努めています。

四国西南バラ会の会長である宮谷さんは、切り花や苗木の展示販売を行いつつ東海婦人学級の技術指導も行っており、学級生と共に東海保育所跡地のバラ園を築いています。「学級生の皆さんが大変上手にバラ作りを行えるようになった」と喜びを語るように、5月13日(金)に開催された鑑賞会にはさまざまなバラが咲き揃い、来場者を魅了しました。また、学級生の高齢化につれて作業負担が増えることを心配し、一緒に活動できる町内のバラ愛好者を募っています。

今後について宮谷さんは、「バラの普及や技術研修、コロナが落ち着いたら研修旅行も再開し、四国西南バラ会の活動を繋がりとして会員の皆さんとともに推進していきたい」と活動への意欲を話しました。

バラの栽培に興味のある方、バラを植えたい方は苗を差し上げますのでお気軽に連絡ください。
電話：72-4302

編集後記

消防署であいなんお仕事紹介のインタビュー中、突如サイレンが鳴り響くと署内の空気が一変。それまで笑顔を見せていた宮崎さんも部屋から駆け出し、即座に防火服に着替えると瞬間に火災現場へと向かいました。

日頃から訓練を重ね、危険と隣り合わせの中働く消防士の皆さまのおかげで、私たちの安心安全な暮らしが支えられていることを実感する機会となりました。

お手伝いプロジェクトの活用による圧巻の収穫作業、遊休農地の再生に取り組む生産者グループの協同作業、そして威勢よく行われるカツオの水揚げ。取材でお伺いした現場で多くの情熱に圧倒され、町が誇る一次産業の力強さを改めて肌で感じました。

季節ごとに途切れることなく移り変わる旬のモノ、それらを生産する現場の仕事人をこれからも追い続け、皆さまに旬を届けます。 M

編集・発行

愛南町役場 総務課 〒798-4196 愛媛県南宇和郡愛南町城辺甲 2420 番地 電話：(0895)72-1211 FAX：(0895)72-1214

愛南町の世帯数と人口

令和4年5月1日現在

世帯数	10,077世帯 (+26世帯)
人口	19,841人 (-27人)
男	9,411人 (+9人)
女	10,430人 (-36人)
愛南町の高齢化率	45.6%
※ () 内は前月比	

●10年前同月の人口 24,618人